

結成 10 周年記念！

# ビワマスフォーラム in 野洲

～滋賀県・家棟川のこれまで 10 年を振り返り、これから 10 年を考える～

参加費無料

定員 100 名

2026 年

2 月 15 日 (日)

13:30 ~ 16:30

コミュニティセンター  
なかさと 大ホール

生き物系 YouTuber  
マーシーさんが  
野洲市にやってくる！



登録者 45 万人！人気チャンネル  
「マーシーの獲ったり狩ったり」  
でおなじみ！

ビワマスなどの在来の魚介類を戻すための  
取り組みや課題について一緒に考えよう！

## 【講演・報告】

- 生き物系 YouTuber が琵琶湖で 5 年魚捕りした結果  
見えてきた琵琶湖の未来
- ビワマスにはどうして学名がなかったん？
- 家棟川におけるビワマス保全のこれまでとこれから

## 【パネルディスカッション】

滋賀県・家棟川のこれまで 10 年を振り返り、  
これから 10 年を考える

主催：家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト／共催：野洲市・滋賀県

琵琶湖に流入する河川ではかつて、秋になるとビワマス（琵琶湖固有種でサケ科の魚類）が産卵のためにあちこちで遡上していました。しかし現在は、親魚の産卵や稚魚の生活のための環境が十分ではなく、その数が減少しています。

ふたたび多くのビワマスが遡上して産卵し、稚魚が琵琶湖に戻り、成長してまた遡上してくるような環境の再生を目指して、野洲市を流れる家棟川では **2015 年度に市民団体や自治会、企業、専門家、行政からなる「家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスに戻すプロジェクト」を結成**しました。これまでに産卵場の造成や仮設魚道設置などの取り組みを行ってきましたが、2023 年度には滋賀県により本設魚道が設置され、野洲駅付近にも遡上しているのが確認されました。

プロジェクト結成から今年度で 10 年。ビワマスに学名が付与されて固有種と認められたほか、地元有志らによる「ビワマス調査隊」も結成され、保全の輪が広がっていますが、課題も残されています。そして県内にはまだまだ課題を抱える川が多くあります。本フォーラムでは、滋賀県や家棟川のこれまで 10 年を振り返るとともに、**これから 10 年を見据えた川の環境保全とまちづくりを広げていくためにどうすればよいか、参加者で話し合います。**ビワマスや野洲市・滋賀県の水辺環境、まちづくりに関心のある方はもちろん、活動を地域で広げる方法について考えておられる方々のご参加をお待ちしております。

### 【プログラム（予定）】

13:30 開会挨拶

13:35 講演・報告

**特別講演「生き物系 YouTuber が琵琶湖で 5 年魚捕りした結果  
見えてきた琵琶湖の未来」**

生き物系 YouTuber マーシー

**基調講演「ビワマスにはどうして学名がなかったん？」**

藤岡康弘（元：滋賀県水産試験場場長）

**活動報告「家棟川におけるビワマス保全のこれまでとこれから」**

佐藤祐一（琵琶湖環境科学研究センター専門研究員）

木村寛（プロジェクト代表・ビワマス生態調査員）

15:20 パネルディスカッション

**「滋賀県・家棟川のこれまで 10 年を振り返り、これから 10 年を考える」**

進行： 佐藤祐一（琵琶湖環境科学研究センター専門研究員）

パネリスト：

生き物系 YouTuber マーシー

藤岡康弘（元：滋賀県水産試験場場長）

三橋弘宗（兵庫県立人と自然の博物館主任研究員）

16:25 閉会挨拶



### 【会場】

**コミュニティセンターなかさと 大ホール（野洲市西河原 2366-1）**

お車で越しの場合：

コミュニティセンターの駐車場をご利用ください。

公共交通でお越しの場合：

JR 野洲駅よりバス（近江鉄道バスまたは野洲市コミュニティバス）

「西河原 2 丁目」バス停で下車

### 【申込・問い合わせ先】

**申込締切：2 月 9 日（月）**

※申込は先着順とし、定員に達し次第、申込締切日前であっても受付を終了します。

野洲市役所 環境経済部 環境課 原田・駒本

〒520-2395 滋賀県野洲市小篠原 2100 番地 1

TEL 077-587-6003 FAX 077-587-3834 E-mail kankyou@city.yasu.lg.jp

## 参加申込フォーム

氏名

住所（市町村まで）

所属

連絡先（電話）

（E-mail）